

NPOニュースレター

みんなで阿寒湖温泉の未来を考えよう！



NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構の
「観光まちづくり」の活動情報をお知らせする新聞です

2009年1月 通巻41号

1 新しい時代「地域と共に歩む」 —観光地の生き残りテーマは郷土力—

新年明けましておめでとうございます。

平素より、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構の運営にご協力、ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年は、観光庁の実現や洞爺湖サミットが開催され、観光業界にとっては大きく夢が膨らむ年でありました。本年は観光業界がその成果が問われる年となります。



昨年後半より世界的な景気の後退がより鮮明になり大恐慌前夜を予想される中、また政治の捻れも国全体の混乱・停滞に拍車を掛けています。そして、自動車業界や電機業界の大不況による従業員の解雇問題など厳しい状況が新しい2009年度に暗雲をたなびかせ、まさに21世紀最大の変革の時期を迎えています。

観光業界を取り巻く環境も、同様にものすごいスピードで変化しており、高齢化・成熟社会の中、本物志向の「国際化」「個性化」「多様化」などが我々の予測を遥に越えた速度で進行しています。

このような時代に、お客様に真に求められる観光地とはどうあるべきか、阿寒湖の方向性はどうか。

徹底して「本物」を追求したものだけが勝ち残っていくことができると感じています。キーワードは“郷土力”です。その土地に魅力がないとお客様は来てくれません。そしてその土地の人に魅力がないと真の「おもてなし」ができません。観光地づくりと人づくりは表裏一体と考えております。



NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構の理事長を拝命し2年の歳月が経ちました。アイヌ文化の発信地を目指した事業展開を図り、アイヌ古式舞踊の充実とイオマンテの火祭り改革、商店街を埋め尽くす「まりもの護り火」千本タイマツ行列、アイヌコタンの公園化など推進して参りました。同時に阿寒太

古の森に分け入る「異国の森プロジェクト」、景観条例を視野に入れた「商店街の改革」、絶滅したエリアの「マリモ再生事業」などにも取り組んでおります。厳しい環境にありながらも、会員の皆様や住民の方々のお力添えで、阿寒湖温泉の活性化のエネルギーは高まりつつあると強く感じております。

本年は、まちの情報発信基地「まりむ館」のオープン、スキー場の指定管理委託運営、そして残すところ後3年となった「阿寒湖再生プラン2010」第三期計画の実施など阿寒湖が大きく飛躍する年になると決意しております。

今年も引き続きNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
理事長 大西 雅之

2 2009 第 31 回阿寒湖氷上フェスティバル

ICE・愛す・阿寒『冬華火』1/24(土)～3/21(土)開催

今年度の氷上フェスティバルの詳細が決まりました。昨年度より花火の打ち上げ時刻が若干早まりました。なお、内容(下記)が一部変更になる場合もありますので、ご了承下さい。



★ロングラン企画(期間中毎日開催!)★

19:30～ ◎お楽しみコーナー(有料ですのでチケットが必要です。)

チケット:300円…わかさぎ天ぷら・ホットミルク・甘酒・体感証明書の4つからお好きなものを3点選んでいただきます。

◎氷上ミニゲーム…カーリングストーンを的へ入れるゲーム(予定)。

◎阿寒湖の氷切り体験…切り出した阿寒湖の氷をのこぎりで切れます。

19:40～ ◎ミニセレモニー…雪と氷のステージで、お客様の歓迎の儀式を行います。

火の神の使いが聖なる火を会場広場のメインファイアーに点火します。

20:10～ ◎氷上花火打ち上げ…冬の夜空を彩る、光と音の饗宴をお楽しみ下さい。

体験メニュー(有料) **氷上ナイトクルージング** (19:00～21:00、期間中毎日実施)

スノーモービル (2km/1,500円、4km/2,000円)

インストラクターが運転。または自分でも運転可能です。

バナナボート (8人乗り、1名/500円)

地域再生マネージャー事業

3 第4回阿寒湖温泉おもてなし講座 報告

『スキー場の指定管理者認定をきっかけに 「阿寒でのおもてなし」について考えよう！』

12月5日に開催した第4回おもてなし講座では、国内スキー場のコンサルティングを多数手がけている坂倉海彦先生(株エボン代表取締役)に、阿寒湖畔スキー場のあり方について、阿寒湖温泉の今後も視野に入れてお話をいただきました。



■「おもてなし」を忘れたために衰退した日本のスキー場

今から50年程前、日本の山にスキーリフトが架けられるようになった当初は、地元は山に来てくださるお客様に感謝の気持ちを持っていました。しかし20～30年前スキーブームが到来すると、何もせずともどこのスキー場にも客が押し寄せ、地元は感謝の気持ちを忘れ、おもてなしの技術を身につけようとしませんでした。スキーブームの間に、設備の更新をせず、宣伝もせず、利用者の立場に立ったサービスもしてこなかったツケが今、全国のスキー場に戻ってきています。そして、地元はお客様へのおもてなしの仕方が分からず、途方に暮れている状態です。

■公営スキー場の民営化は、うまくやればスキー事業の再生につながる

民営化とは「看板の架け替え」ではなく、事業をやる組織の機能が変わることであり、公営ではできない民間企業ならではの運営—おもてなしの向上—で売り上げを上げていくことです。

■阿寒湖畔スキー場の民営化と将来の阿寒の観光について

地方の観光地は、「地元の人々にとって大切な自然や文化」をお客様に楽しんでもいただくことにより、地元の人々の心も財布も充たされるという関係をつくる「おもてなし」でなくてはなりません。地域全体が共通の認識とビジョンを持って一つにまとまって歓迎することが究極の「おもてなし」でしょう。



阿寒湖畔スキー場は、リフト1基の収入としては全国的に見てもそこそこですが、その規模でスキー場を成立させることは難しいです。阿寒湖温泉の冬の活動メニューを増やすために、いかにスキー場でのプログラムを充実させるかです。

また、お客様に阿寒湖温泉や阿寒湖畔スキー場を選んでいただくために、口コミはとても有効です。たった1回のお客様ともふれあいを持っていい関係を作れば、お客様は帰宅後「行って良かったよ！」と言ってくれるし、皆さんも仕事の達成感を得られるはずです。せっかくのスキー場が阿寒湖温泉の財産となるように、「おもてなし」について真剣に考えて欲しいと思います。

●阿寒湖畔スキー場 お得情報！ 遊びに来て～

①温泉街を楽しめる7つの特典付 2009 シーズンパスを販売中！

□大人 25,000 円、小人(中学生まで)15,000 円



昨年のキッズデー

- 特典**
- ①スキー場レストランお食事 10%割引
 - ②サークルハウス赤いベレー () 内は通常料金
温泉入浴割引 大人 300 円(400 円)、中人 200 円(300 円)、小人 50 円(100 円)
れすとらん鶴 お食事 10%割引
 - ③たんちょう釧路空港3階 レストラン赤いベレー お食事 10%割引
 - ④阿寒湖温泉ホテル日帰り入浴 50%割引(協賛施設のみ)
 - ⑤スノーモビル(あいすランド) 10%割引
 - ⑥あっかんべ～ アイスクリーム シングルをダブルにサービス(本店のみ)
 - ⑦阿寒湖温泉街 お買物 5%割引(協賛施設のみ、一部商品は除く)

② 1 日券も特典付です(特典は当日のみ有効)

- ①スキー場レストランご利用 10%割引
- ②スキー場レンタル用品 10%割引
- ③阿寒湖温泉商店街協賛店でのお買物 5%割引
- ④スノーモビル(あいすランド) 10%割引
- ⑤地元ガソリンスタンドでの給油(現金のみ) ガソリン 5 円引き/リットル、軽油 2 円引き/リットル

③「キッズ DAY」(1/11) は中学生以下リフト無料!!

④レディース DAY(毎週水曜)は女性全員 リフト 1 日券 50%割引、レストラン食事 100 円引き。

さらに、先着 10 名様スキー場レストランでのお食事が 50%割引に。

⑤シニアデー (60 歳以上の方)：日祝はリフト 1 日券が 2,000 円引き、平日は 1,000 円引き。

⑥手ぶら DE ちょいスキー!：スキー一式(スキー板・ブーツ・ポール・ウェア・手袋)が大人 5,000 円、小人 4,500 円。さらに、スキー場レストランでのお食事が 10%割引に。

☆下記サービスデーでもリフト 1 日券&スキー場レストランお食事が 50%割引

○1/12 20 歳のスノーデー：先着 10 名様 ○2/14 バレンタインデー、3/14 ホワイトデー：先着ペア 5 組様 ○3/3 ひなまつりデー：先着女性 10 名様

お申込み・お問合せ：阿寒湖畔スキー場Tel67-2881、<http://skyski.hp.infoseek.co.jp/>

今月のスケジュール

※1月1日現在のスケジュールですので、変更になる場合もございます。事前にご確認をお願いします。

1月11日(日)	キッズDAY 阿寒湖畔スキー場 P4参照
1月12日(月)	20歳のスノーデー 阿寒湖畔スキー場 P4参照
1月12日(月) ～14日(水)	第36回阿寒ジュニアスピードスケート大会
1月24日(土) ～3月21日(土)	第31回阿寒湖氷上フェスティバル P2参照

編集後記

明けましておめでとうございます。2009年は私達の今までの活動が報われる年となる事を心から願っております。観光協会は今年4月からスキー場の運営を行う事になります。それは期待に満ちたものでなければなりません。変わることが求められます。阿寒湖温泉にとってなくてはならない沢山の人が集う場所として楽しいスキー場を目指します。沢山の課題を目標として、未来の夢として着実に実現していく 2009年です。(推進機構副理事長：松岡尚幸)

NPOニュースレター

通巻第41号 2009年1月1日発行

- 発行元 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
- 所在地 釧路市阿寒町阿寒湖温泉 2-1-15
- 電話 0154-67-3200/FAX0154-67-3024
- ホームページ <http://www.lake-akan.com/>
- E-mail staff@lake-akan.com

このニュースレターは(財)地域総合整備財団くふるさと財団「地域再生マネージャー事業」の一環として発行しております